

San-iku 通信



社会福祉法人
賛育会

ご自由にお持ちください。

2014 SUMMER

Vol. **02**

社会福祉法人 賛育会 広報誌
さんいく通信

New!
特集

清風園
特別養護老人ホーム

夏本番！紫外線対策
健康においしく ～ドリンクレシピ
賛育会ヒストリー ～第一章 第二話



特集

清風園 ～特別養護老人ホーム

お会いする全ての人に、おもてなしの心を。
地域とともに歩み、おかげさまで50年。

今年で50周年。高齢者福祉の先駆け、賛育会の特別養護老人ホーム。

特別養護老人ホーム「清風園」は町田市(金井)の四季の景色が堪能できる眺めのよい丘の上にあります。

清風園は老人福祉法制定の翌年である1964年(昭和39年)の7月に開設し、今年で50周年を迎えることとなりました。

現在の清風園は2002年に建て替えをしたため、開設当時の面影は今はありませんが、玄関前にある高松宮殿下、妃殿下が1970年(昭和45年)にお手植えになった「月桂樹」の木とそれを記した碑は50年間の清風園の歴史を物語るように健在です。

この半世紀、町田市金井町の地で、町田地域の高齢者福祉を牽引しながら、地域に根差した事業展開をしてまいりました。地域と共に発展してきた清風園と言っても過言ではありません。

清風園には代々受け継がれている伝統と人材育成があります。その一つが、「私たちがお会いするすべての人に

対して、おもてなしの心」を持つことです。笑顔と挨拶への指導は清風園開設当時から厳しかったと聞いております。また、常に「寄り添う心」を大切にしてお見取りケアを実践して参りました。賛育会の理念はキリスト教の「隣人愛」の実践で、普遍的な清風園の基本方針に繋がっています。今年度は清風園の隣地に「サービス付き高齢者向け住宅」を着工いたします。それに伴い、「定時巡回・随時対応型訪問介護看護」事業も、来年度には開始いたします。さらに、医療と介護の連携を軸に、地域包括ケアシステムの構築を町田市薬師台にある第二清風園と協働して実施してまいります。

清風園は50年の歴史の中で、常に高齢者福祉の先駆けであることを自覚しながら一歩ずつ進んでまいりました。今後も地域に密着した介護サービスを展開し、お一人おひとりにあった住まいの選択をお手伝いさせていただきます。

緑豊かな丘陵地にある、文化と歴史ある街「金井(町田市)」



江戸へ十里の位置にある「金井」はかつて田畑と山林からなる田舎風景と、空気が美味しい環境抜群の地でもありました。丘あり、谷あり、流れあり、四季折々の景観を楽しめます!3つの長い丘にはさまれて、2つの谷戸に1本ずつ川と道が通り、かつては古い集落があり農村の名残をと

どめていました。畑作、稲作どちらにも適する絶好の段丘と谷から成り、その緑豊かな丘陵地には竪穴式住居跡も数多く見つかっています。鹿や猪を追って狩猟に従事していた者たちが豊富な薪炭を使って行っていた鍛造。鑄に井をあて、「金井」になったといわれています。

■インフォメーション
特別養護老人ホーム
清風園

TEL:042-735-3000
東京都町田市金井7-17-13

■Webサイト
<https://www.san-ikukai.or.jp/seifu-en/>

知っ得! ケア

夏本番! 熱中症対策

喉の渇きを感じたら、効果的な水分補給を。

最近暑いですね! この時期気になるのが熱中症です。熱中症とは、高温環境下で起こる身体の適応障害の総称で、めまい・頭痛・吐き気・痙攣・意識障害の症状があります。熱中症は気温の高い日中に、屋外の作業やスポーツをする人に多く発症する傾向にありましたが、最近は室内や夜間にも発症する人達が増えてきました。特に65歳以上の高齢者の半分位は、自宅で熱中症にかかっています。熱中症の予防として、「日中の外出を避ける、日傘・帽子を着用する、日陰を選んで歩く、ブラインド・簾などで遮光する、扇風機・エアコンを使用する。」等があります。エアコンの設定温度は28℃を目安とし、冷気が直接体にあたらないようにしましょう。熱中症の症状を把握し、早めに対処することが大切です。脱水状態を把握するには、肌・唇・舌・脇の下の渇きのサインを見逃さないことです。特に脇の下は自分で直ぐに把握できます。触ってみて湿っていないと、乾燥が進んでいるサインです。こまめな水分・塩分を補給し、熱中症にかからないようにしましょう。喉の渇きを感じた時は、既に体内の水分不足状態です。汗には1ℓあたり2~3gの塩分が含まれているので、「ナトリウムを含んだスポーツドリンクを飲む」「麦茶0.5~1ℓに対して、梅干し1/2個を食べる」などで補給して下さい。



Recipe

ドリンク
レシピ

健康で
おいしい

夏バテ×熱中症予防!! 青じそジュース

赤じそジュースはよく聞きますが、青じそジュースでも美味しく爽やかな味わいのジュースが作れます。

■材料(2人分)

水.....500cc
青じそ.....100g
砂糖.....120g~250g
レモン汁または酢.....10cc~15cc

■作り方

1. 沸騰したお湯に洗ったしそを入れ、10分煮る。
2. しそを鍋から取り出し砂糖を入れ、火を止めレモン汁または酢を入れる。
3. 自然に冷まし、清潔なふきんでこしてから、容器に入れ冷蔵庫で保存。飲む時は、好みで3倍~4倍に薄める。

*1ヶ月は保存が効くので便利です!

(レシピ提供: 第二清風園 管理栄養士 奥野美代子)

賛育会ヒストリー

賛育会の歴史物語

第一章 賛育会の歴史

第二話

大震災にも負けない、希望をつなぐ強い心。
初代院長・河田茂が賛育会を蘇らせました。

賛育会本所産院(現賛育会病院)の院長になって二か月。33歳の河田茂は産院の食堂で昼食をとっていました。そのとき大地が強く揺れました。1923年(大正12年)9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の関東大震災です。食堂の隣は託児所。河田はすぐに子どもたちを避難させました。壁が落ち、泣き声が家のきしむ音と混じり、町がウーンと吠えたように揺れている。二階には入院中の産婦が10名。這って階段を上がる河田。断続的に破壊的な大きな振れが約10分間も襲ってきたといいます。逃れた一行は、乳児と産婦と託児所の子どもで35~36名でした。昼食時でもあり至る所から一斉に出火、夕刻には火災旋風(火の竜巻)が巻き起こり、死者行方不明14万2800人と東京はまさに地獄と化しました。産院を焼失し呆然とした河田でしたが、

すぐに救済班を組織し救護活動に協力。さらにテントの臨時産院を設け被災乳児の収容保育を行いつつ、施設復興に奔走します。震災後のある日、河田は薄汚れた被災者の姿のまま宮内に押しかけ、現金一千万円という奇跡的な救済金を持ち帰ります。そして友人たちの助力を得て、仮建築の産院を元の場所(墨田区)に建てました。しかし、施設運営を経済的に支えた木下正中(賛育会初代理事長)の病院も焼失。自立を余儀なく迫られ、無償の慈善事業から有償の社会事業に転換することになるのです。(つづく)



賛育会本所産院前で(大正15年)



サービス付き高齢者 向け住宅 どんな住宅なの？

最近、よく目にするサービス付き高齢者向け住宅(通称:サ高住・サ付き。)とは、どんな住宅なのでしょう?サービス付き高齢者向け住宅は、民間事業者によって運営され、都道府県に認可・登録された賃貸住宅です。建物はバリアフリーになっており、スタッフによる安否確認・生活相談サービスが提供され、高齢者が安心して生活できる住宅です。介護や医療が必要な時は、地域のサービスと入居者が個別に契約して利用することになります。施設ではなく住宅ですので、住宅内での食事提供や周辺に必要とするサービスがあるのか、実際にかかる費用はいくらなのかなど、入居前にしっかりと下調べをしたうえで、判断することが重要になります。賛育会でも、東京都町田市にて2015年11月開設を目指してサ高住を計画中です。

メリット

- ①住宅スタッフによる安否確認・生活相談サービスがある。
- ②高齢者が契約・入居しやすい。
- ③施設でなく住宅なので、入居者の希望に合わせ、サービスを選択して利用できる

デメリット

- ①通常の賃貸住宅より家賃が比較的高い。
- ②連帯保証人、またはそれに準じる制度への加入を求められることが多い。
- ③重度の介護状態や認知症の症状がある場合、住み続けられない可能性が大きい。

下記ホームページで詳しい情報を検索することができます。
<http://www.satsuki-jutaku.jp/index.php>



相良清風園(静岡県牧之原市) 夏の風物詩! 流しソーメンをしました。

6月23～26日、相良清風園では毎年恒例の流しソーメンを行い、夏の風物詩を楽しんでいただきました。今年は天気にも恵まれ、屋外で行うことができました。今回使用した流し台は地域住民の方にもご協力いただき、当園の裏山にある竹藪に入り、一番育った竹を切り、全長10メートルの流し台を職員で作製しました。ご利用者からは「竹の匂いがするね。」「ソーメンが美味しい季節になった。」と声が聞かれ、皆様喜ばれていました。



Hello! ホスピタル 賛育会病院

Vol.02

産科のご案内

～東京都地域周産期母子医療センター

ママの不安解消!何でも相談してください。



地域周産期母子医療センターの認定を受けている当院では、医療スタッフが充実(2014年6月現在 産婦人科 常勤医8名、小児科 常勤医8名、助産師60名)

しており、安心して出産することができます。妊娠中の診察には助産師外来もありますので、気軽に相談ができます。実際に当院で出産したママさんの声をご紹介します。

■Aさん:信頼できる先生や助産師さんです

先生に聞きづらいことでも、助産師さんが相談ののってくれたので安心できました。出産直後は母乳もすぐに出なく、子どもが泣き止まずに困っている時も声をかけてくれたり、アドバイスを頂けました。初産の私には、すべてに不安でしたが、信頼できる先生や助産師さんが、常に見守ってくれて嬉しかったです!第2子も出産したいと思いました。産婦人科で有名な病院ですし、初産や持病のある妊婦さんは、特にオススメです!

■Bさん:NICU(新生児科)があるので安心です

子どもに何かあってもNICU(新生児科)があるので安心です。立ち会い出産では夫と母が付き添ってくれたので心強かったです。分娩室で好きな音楽を聞いたり、アロマを焚いたり、足浴したり、母乳育児等、満足する出産ができました。お祝い膳は豪華で美味しかったです。

■検診・母親学級・分娩予約等のお問い合わせ先
TEL:03-3622-9191

アラカルト

賛育会グループ施設より、初夏の
便りがやってきました。



豊野清風園
(長野県長野市)



東京清風園(東京都墨田区)

本格的な暑さになってきましたね。賛育会グループ施設ではさまざまなイベントが開催され、東京清風園では今年で31回目のシルバーアンサンブルのコンサートが開かれました。豊野清風園ではバラ祭りに参加し、鮮やかな色彩と香りを楽しみました。

San-iku通信 Vol.02 2014年 夏号
編集発行人:西原 良信
発行所:社会福祉法人 賛育会
東京都墨田区太平3-17-8 電話:03-3622-7614
印刷:(有)エースプリント

賛育会ホームページ <http://www.san-ikukai.or.jp/>